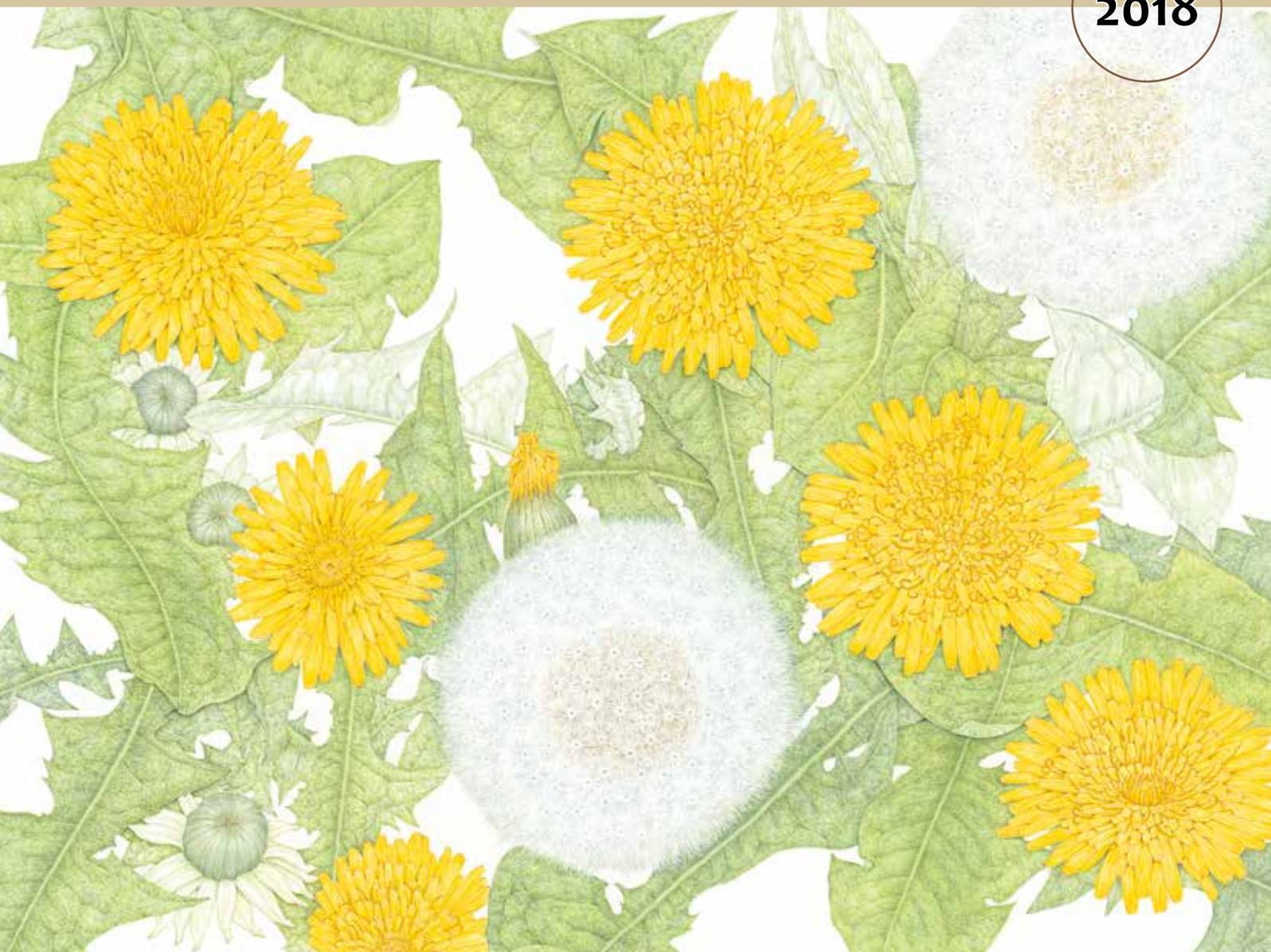


おすすめ! 世界の子どもの本

Translated Children's Books

— JBBY 選 日本で翻訳出版された世界の子どもの本 —

2018



JBBY

荒井真紀

1965年東京生まれ。16歳の時より熊田千佳慕氏に師事する。『たんぼぼ』（金の星社）で2017年ブラティスラヴァ世界絵本原画展（BIB）金のりんご賞受賞。ほかに、『あさがお』（金の星社）『あずき』（福音館書店）『チューリップ』（小学館）など。

もくじ

- 2 | 選書・執筆チーム紹介
- 3 | はじめに
- 4 | 絵本（32冊）
- 9 | 読みもの（29冊）
- 14 | ノンフィクション（20冊）
- 18 | 翻訳家エッセイ（原田勝 / 母袋夏生）
- 20 | 海外の作家からのメッセージ（ジョン・キラカ）
- 22 | 資料：日本のIBBY オナーリスト

選書・執筆チーム紹介



さくまゆみこ

翻訳家、編集者、元青山学院女子短期大学教授。アフリカ子どもの本プロジェクト（JACBOP）代表。出版社勤務の後、子どもの本の翻訳を始め、約250点の訳書がある。「クロニクル千古の闇」シリーズ（バイヴァー作、評論社）『はみだしインディアンのホントにホントの物語』（アレクシー著、小学館）など。「マディソン通りの少女たち」シリーズ（ウッドソン作、ポプラ社）で2002年IBBY オナーリスト・翻訳部門に選出された。JBBY 会長。



代田知子（しろたともこ）

埼玉県三芳町立図書館長。公立図書館司書として、長く児童サービスを担当。読み聞かせ、ブックトーク、ブックスタート等の実践を通して子どもの本の普及・研究に努める。各地で図書館員や保育士向けの研修会講師を務め、後進の育成にも力を注いでいる。著書に、『読み聞かせわくわくハンドブック』、共著に『えほん 子どものための300冊』（ともに一声社）など。JBBY 理事。



神保和子（じんぼうかずこ）

株式会社ヴィアックス図書館事業本部運営支援部テクニカルサポート室勤務。司書。専門は幼児教育学。幼稚園教諭、図書館司書、保育専門学校専任講師を経て現職。図書館司書向けの研修や、図書館などでの絵本講座、わらべうた講座を担当し、児童サービス支援サイト「本のこまど」で子どもの本に関する情報を発信している。個人的には1989年より、東京の自宅や香港、シンガポールなど家族の転勤先でも、家庭文庫活動を続けている。



土居安子（どいやすこ）

大阪国際児童文学振興財団（IICLO）理事・総括専門員。読書活動や日本児童文学史に関する研究を行うと同時に、教員、司書等に対し、読書活動にかかわる研修や、国内外の児童文学作家の講演会やシンポジウムの企画等を行っている。共編著書に『子どもの本100問100答』（創元社）などがある。日本人として四半世紀ぶりに、2018年国際アンデルセン賞の国際選考委員に選出された。元JBBY 理事。



福本友美子（ふくもとゆみこ）

調布市立図書館司書、立教大学兼任講師、国際子ども図書館非常勤調査員を経て、子どもの本の翻訳、研究をする。訳書は『としよかんライオン』（岩崎書店）『ないしよのおともだち』（ほるぷ出版）『おさるのジョージ』シリーズ（岩波書店）など約200冊。読書や図書館の普及を願って各地で講演をし、『キラキラ読書クラブ改訂新版 子どもの本702冊ガイド』（共編、玉川大学出版部）『図書館のトリセツ』（共著、講談社）などを執筆。元JBBY 理事。

凡例

紹介する本は、本のタイトル、作者、翻訳者のほか、出版社 | 出版年 | 原書出版国（言語） | ページ数 | サイズ | 対象年齢 | キーワード について記してあります。

はじめに

JBBYとは

JBBY（日本国際児童図書評議会）は、IBBY（国際児童図書評議会）の日本支部として、1974年に創設されました。IBBYは、子どもたちが生きやすい平和な未来を築くため、子どもの本を通してさまざまな国や地域との相互理解を深めようという国際ネットワークで、現在79の国と地域が加盟しています。主な活動としては、子どもの本にかかわる人たちの国際的な情報交換、「子どもの本の世界大会」の開催、「国際アンデルセン賞」や「IBBY朝日国際児童図書普及賞」などの贈賞、災害や戦争などの不安定な状況下にある子どもを本で支援するための「チルドレン・イン・クライシス基金」の提供などを行っています。

JBBYは、IBBYの理念に沿って、子どもの本を通して日本と世界の間を橋を架ける活動を行っています。その一環として日本国内で「世界の子どもの本展」「世界のバリアフリー児童図書展」などを主催し、IBBYのネットワークで世界中から集めたすぐれた児童書を日本の読者に見ていただき、またその情報も提供しています。それと同時に、たとえば国際的な賞などに日本の作家や画家を推薦したり作品を出展したりすることにより、日本の子どもの本に関する情報を世界に発信する活動も行っています。

2015年度からは毎年、海外に紹介したい日本の子どもの本約100点を英文で紹介する *Japanese Children's Books* も発行し、海外のブックフェアや国際会議、大使館や図書館などで役立てていただいています。昨年からは、その内容を日本語でも知りたいという方たちのために、『おすすめ！日本の子どもの本』の発行も始めました。そして今年からは、日本で出版されている翻訳の児童書の中からすぐれた作品を紹介する『おすすめ！世界の子どもの本』も発行することができるようになりました。こうしたブックリストには、子どもたちの心の中に種をまくことのできる作品を選んで載せているつもりです。

このブックリストについて

このブックリストは、日本で出版された世界各国からの翻訳児童書の中から、専門家グループが討議を重ねて、日本の子どもたちに読んでもらいたいすぐれた作品を選び、それぞれの作品の書誌事項とともに、短い紹介文をつけています。カテゴリーは（1）絵本（2）読みもの（3）ノンフィクションに分け、それぞれ対象年齢の低い順に掲載してあります。出版社の表示とは異なる対象年齢が表示されている場合もありますが、ご了承ください。紹介文の末尾には執筆者の名前を記しました。巻末には、翻訳家の原田勝さんと母袋夏生さんのエッセイ、タンザニアの絵本作家ジョン・キラカさんからの日本の子どもたちへのメッセージ、資料としてIBBYオナーリストに選出された図書の一覧を掲載しました。図書館や学校などでも、国際理解、多文化共生のために、ぜひお役立てください。

なお、このブックリスト発行にあたり、デジタルカバルト株式会社に多大なご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。



姉妹版「おすすめ！日本の子どもの本」

2018年12月

JBBY 会長 さくま ゆみこ

おすすめ！世界の子どもの本 Translated Children's Books

2018

—— JBBY 選 日本で翻訳出版された世界の子どもの本 ——

一般社団法人 日本国際児童図書評議会

発行日：2018年12月20日

発行人：さくまゆみこ

選書・執筆：さくまゆみこ、代田知子、神保和子、土居安子、福本友美子

編集協力：梓澤設夫

表紙画：荒井真紀

協賛：デジタルカバルト株式会社

一般社団法人 日本国際児童図書評議会（JBBY）

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32

TEL: 03 6273 7703 FAX: 03 6273 7708

E-mail: info@jbby.org

<http://www.jbby.org/>

© JBBY, 2018

